

# 石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

## 日時

平成23年11月22日(火) 19:00～20:35

## 会場

蛇田中学校 体育館

## 参加者数

約150名

## 主なご意見

### 災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
「災害公営住宅整備事業」と「災害復興型地域優良賃貸住宅」の違いは。また、予定数以上のニーズがあった場合はどのように対応するのか。	災害公営住宅とは一般的な市営住宅、災害復興型地域優良賃貸住宅はもう少しグレードの高いもの。入居対象は、全壊、流失した住宅の方である。現在3000戸を目安に整備を考えているが、今後、災害公営住宅に入居するのか、集団防災移転促進事業で家を建てるのか、皆様の予定などを伺い対応する。
借地に家を建て、店舗を構え経営していたが、その場合であっても代替地はあるか。	堤防や非可住地の土地の代替地ということですので、土地を持っていないということであれば難しい。
南浜町の土地は買取るのか。代替地は購入しなければならないのか。	土地は買取りの方向で考えている。代替地は蛇田地区の新市街地を考えているが、土地については「借りる」または「買う」という方法がある。

### 市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
交通について、仙石線と石巻線の全面復旧はどれくらいの期間がかかるのか。	仙石線は、矢本から松島間では山際に移動するように検討している。現在、朝1本、石巻線と東北本線を使い、仙台まで直行便が運行されているが、足りないため増便を要望している。仙石線全線開通は時間がかかると推測しているが、市としても最重要課題として取り組む。
仙石線の複線化について、どのように考えているか。	仙石線の沿線市町で期成同盟会を結成し、毎年、要望活動が続けてきたが、JRとしても営業の関係上、乗降客数などから複線化が進んでいない。時間を短縮するためにも複線化が必要と考えているので、根気強く要望していく。

## 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

質問・意見	回答
働く場所、特に水産業の復旧を計画にしたがって早急に検討してほしい。	企業の再建の意欲が失われる前に、早い段階で水産加工業の再建を実現したい。水産庁や県と全力を挙げて取り組んでいる。
雇用について、いかに仕事を得るか、若い人がどのように生活するのか、みんな不安があるので具体的な案は。	失業保険の給付が国の政策により数ヶ月延長されている。緊急的な雇用については、いろいろな施策を展開しているが、根本的な解決には至らないと考えている。市としては、中核産業群として、日本製紙を中心とする製紙業、水産加工業、製材関係、農林水産業、飼料製造業などをいち早く復旧・復興に繋げていくことが最大の雇用復興政策と考えている。

## 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
子どもの学校の送迎のために、就職が難しいが、転校はさせたくない。今後、何年このような状態が続くのか。	被災校については、修理・修繕をして使えるまでに標準的に1年半程度、新設となると、土地の取得や設計、建設で標準的には4年かかる。11月1日から、学校の現状と今後の方向性の説明を保護者対象に行ったが、今後は、在校保護者だけでなく地域の皆様の意見をいただき、教育委員会で最終的な案を作成していく。なお、スクールバスについては、具体的な経路などを検討し、調整したい。

## その他

質問・意見	回答
具体的な内容をCGのような形でイメージしたもので見せてほしい。また、お金や住まいについて心配があるので個人への支援を充実させるため、アンケート実施して、市民一人ひとりの不安や悩みを解消してほしい。	事業実施に向けて計画が具体化するので、その中でご提案いただいた内容を心に留めて取り組んでいきたい。
約10年間の復旧・復興の計画があるが、全体としての予算はどの程度となると想定しているのか。	復興事業を目一杯実施した場合、国・県・市の事業を合わせると約2兆円と考えている。
計画の進捗状況について、中間報告はあるのか。	計画の期間、復旧期3年・再生期4年・発展期3年との概ね3段階に分けて区切り区切りで皆様に報告していきたい。今後、実施計画を策定し、その中でも毎年進捗について報告していきたい。